

③PHRの利活用に関する新たな実証研究

IoTデバイスとオンライン診療・オンライン保健指導による
ヘルスケアサポートの有効性に関する研究に参加される皆さまへ

《全体のスケジュール》

		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
		項目		2回目		4回目							
診療時 （来院 オンライン）	医師診療	対面診療 1/5回	オンライン 2/5回	オンライン 2/5回	オンライン 3/5回		オンライン 4/5回						終了後 対面診療 60 オンライン 5/5回
	医師 コンシェルジュ （相談）サポート	アプリ導入 ■アンケート	■リサーチシート	②に2回以上（オンデマンドサポート）									
			■食事・運動内容の記録（毎日推奨） ■医療コンシェルジュからの医療指導サポート ■生活習慣に関するサポート	②に2回以上（オンデマンドサポート）									
	検査測定	検査測定	検査測定・記録（※毎日推奨）	測定									
	血圧測定	検査測定	検査測定・記録（※毎日推奨）	測定									
	リハビリ使用	1枚使用	3枚	月最大1枚（※1枚につき2週間利用可能）									
	当アプリメモ			利用可能									
オゾンジョ	■電力測定			■負荷 ■電力測定									

Yadocアプリでの食事写真による オンライン生活指導例

[illegible]

新たな追加研究:2025年1月より 100例の2か月コースによる臨床研究開始予定(すでに100例症例登録済み)
上記研究結果より 2か月で行動変容が完成している症例 85% (40/47) 認められた。
デジタル医療で行動変容が従来の6か月から2か月に短縮できる可能性を証明する⇒医療政策の効率化

予定症例数: 50例

PHRアプリ(YaDOC)使用

毎日の食事の写真+リブレ(血糖リアルタイムモニタリング)情報
をもとに医療従事者が生活指導

(タンパク摂取量指導をあり: 厚労省健康づくりのため身体活動・運動ガイド2023と下記参考文献を応用した実証研究)

50例登録済み

解析例：47例

(女性12名、平均年齡54歲、糖尿病15/高脂血症24/高血壓8/心血管疾病7名)

研究修了時(6か月)結果

①写真や血糖値(リブレ):96%(45/47例)が食事内容の改善

栄養士(コンシェルジェ)からのremindない場合は60%(28/47)

③対象者47名,BMI $\geq 25\text{kg/m}^2$ の肥満27例で腹囲低下($92.7\pm 8.0\rightarrow 85.1\pm 2.9\text{cm}$, $P<0.04$)、

血糖值改善($116 \pm 3 \rightarrow 114 \pm 4 \text{mg/dl}$)。

糖尿病15症例でHbA1cが低下($7.1 \pm 0.7 \rightarrow 6.6 \pm 0.6\%$; $p < 0.04$)

体重減少例



震災での有用例

R6能登地震1.5次避難所 70歳男性 糖尿病症例

避難所に来て支給される弁当が主
体重が1か月で3kg増加、この間、診療も受けず

糖尿病症例 昼食 20240327(水)

